

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市宮城野区文化センター	
2	指定管理者	(公財) 仙台ひと・まち交流財団	
3	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	
4	施設の利用状況	《利用者数》 H29 88,712人 H30 85,558人 (前年度比96.4%) R1 82,845人 (前年度比96.8%) 《利用件数》 H29 4,219件 H30 4,212件 (前年度比99.8%) R1 3,997件 (前年度比94.8%)	
		《事業》 ・宮城野区文化センターの運営管理 ・自主事業の開催	
5	収支の状況	《費用》 ・指定管理者に支払った費用 180,338千円 (185,129千円) ()は前年度決算額 ・その他市が負担した費用 4,008千円 (17,396千円)	
		《収入》 ・使用料収入 44,197千円 (48,768千円) ・その他収入 2,782千円 (2,719千円)	
6	利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケートを実施。 期間：令和2年1月7日～令和2年2月15日 (コンサートホール及びシアターホールの利用者) 令和2年2月1日～令和2年2月21日 (諸室利用者)	

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	施設の設置目的を踏まえ基本方針が定められており、職員は施設の目的を十分理解しているとともに、施設目的の達成度も良好である。地域の文化振興に資する自主事業を積極的に展開している。また、施設の特性を生かし利用者が文化芸術に触れる機会を数多く創出している。	36/36
II	施設の運営管理体制	職員の勤務実績、配置状況、開館の実績、指定管理料の執行状況、個人情報の保護、情報セキュリティ対策、事故防止対策への取組、事故発生時の対応体制の構築、災害発生時の対応体制の構築については、いずれも望ましい水準を満たしているものと認められる。	30/30
III	施設・設備の維持管理	建物・設備の管理・安全性の確保・機能保持、備品の管理、清掃業務、警備業務、環境への配慮、外構の保守点検・清掃、植栽・樹木等の維持管理ともに、いずれも望ましい水準を満たしているものと認められる。	24/24
IV	サービスの質の向上	職員のマナー、利用しやすい受付案内、適切な情報の提供、利用促進の取組、サービス水準の確保、職員の教育・研修、利用者からの意見・苦情に対する対応については、いずれも望ましい水準を満たしているものと認められる。	28/28
V	施設固有の基準	関係機関との連絡会の実施等で情報共有をはかり、連携して施設管理に取り組んでいる。駐車場の混雑対策においても、駐車スペースの見直しを行い、混雑緩和に向けた取組みを行っている。室内楽コンサートMusic From PaToNaやワンコインコンサートにより音の響きのよいコンサートホールを生かした取り組みを実施することで市民がクラシックに触れる機会を創出している。また、オープンカフェ(MIYAGINO MARCHE)により宮城野高校美術科と連携をとり、イベントを積極的に実施するなど、地域団体等と協力して文化振興強化に努めている。自主事業以外の催事チケットを文化センター内で取扱う「みやぶんチケットサービス」に関して、他の施設にほとんど例をみない取組みであり、来館者増加に努めているといえ	7/6

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》

宮城野区文化センターの指定管理者として、協定書、仕様書に基づき適切な運営管理業務を行いました。業務遂行にあたっては、お客様へのサービス向上と共に、「劇場法」の趣旨に沿って文化芸術の振興により豊かな地域社会の実現に寄与することを目指し、様々な取組みを進めました。施設管理面では、敷地内を自転車通行する方へ声掛けやメッセージボードの設置、ホール搬入口前の歩行者を確認する大きなミラーの設置、年間リサイクル率60%を超えるゴミ減量対策など安全で快適な施設を維持するための取組みを進めました。事業面では、パトナホールにおける優れた音楽鑑賞事業は地域の方々に親しまれると共に音楽関係者からも高く評価されています。更に先駆的な取組みとして、文化芸術の周知と発信、音楽鑑賞機会の促進やお客様の利便性向上などを目的に、ホールで開催される催事チケットの取扱いを行いました。市民が文化に親しみやすい環境づくりの一環としてワンコインコンサートを2014年から継続開催、これまで36回を重ね、市内の他施設には例をみない取組みです。平均入場者数は定員の約9割に達し、地域に浸透した公演となっています。

地域の皆様に愛される憩いの場として、地域団体との連携で行った宮城野高校美術科卒業制作展では生徒たちが区民広場で作品作りの無料ワークショップを行い、区役所の区民協働まちづくり事業と連携してオープンカフェ(MIYAGINO MARCHE)を開催、新たな賑わいを創出し施設全体の活性化を図りました。

また、併設児童館や区内の保育園などと協力して行っている花壇の整備や四季折々のセンター内装飾など豊かな地域コミュニティの醸成に向けての取組みも継続して進めました。

今後も施設の特性を最大限に活かした事業を展開すると共に地域の皆様の活動を幅広くサポートし、地域文化の創造、発信、交流の拠点となる施設の運営管理を行ってまいります。

《施設設置者（仙台市）による評価》

アンケート結果は例年良好であるが、現状に満足することなく、より一層利用者の意見を抽出するためにアンケートの様式・収集方法を見直しており、高い向上心をもってサービス向上に努めている。

今回のアンケート結果も利用者の満足度が高く、日頃の努力の成果が見て取れたが、改善の余地がある意見も一部見受けられたため、さらなるサービス向上に繋げていただきたい。

施設管理においては、自転車通行する方への配慮だけでなく、ホール搬入口前を通る歩行者に対しても安全に通行していただけるような配慮をしており、既存のカーブミラーでは物陰に隠れてしまうことからさらに大きいカーブミラーを設置し安全強化を図っている。

また、コンサートホールで行われる催事チケットを文化センター内で取扱う「みやぶんチケットサービス」は、他施設にほとんど例をみない取組みであり、来館者を増やすための工夫や努力がみられる。

当文化センターの目玉であるコンサートホールを存分に生かした取組みについても積極的に進めており、室内楽コンサート Music From PaToNaやワンコインという手頃な価格で質の高いコンサートを定期的に開催し、市民がクラシックに親しむ機会を創出している。

地域住民や併設施設とも良好な関係を維持し、宮城野高校美術科卒業制作展やオープンカフェ(MIYAGINO MARCH E)、花壇の整備など様々な活動を地域団体等と連携して行っている点についても大いに評価できる。

以上のほか、ヒアリング、現地調査等の結果より、市民協働事業により策定された「宮城野区文化センター物語」を基本とし、施設の設置者が求める要求水準を十分に満たしているといえる。

総合評価

S

四 その他特記事項

(上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する)

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：宮城野区まちづくり推進部まちづくり推進課